

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
 川西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415
 吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
 田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446
 森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
 田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570
 (事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
 三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661

政党助成金 18年で5677億円

28党中21党が解散・消滅
 「違憲撤廃せよ」
 共産党主張

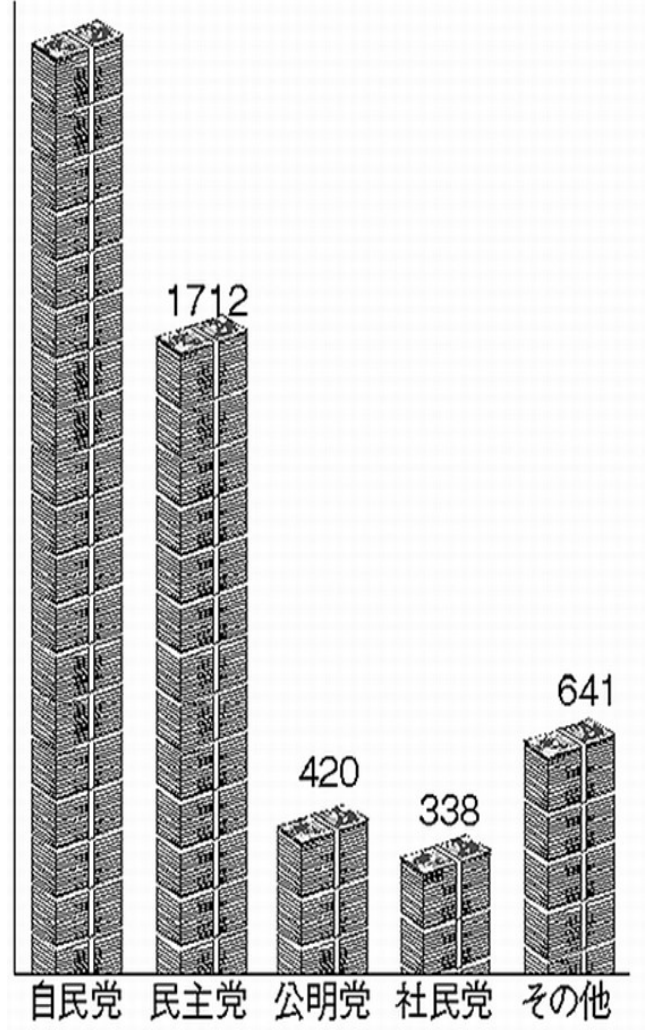
2013年1月13日(日)

国民の税金を政党に支給する政党助成金の総額が、1995年の制度実施から昨年2012年までの18年間で5677億4177万円に達することが本紙の調べでわかりました。「削るなら『政党交付金』から始める」とこそ『身を切る』やり方「(『東京』昨年12月18日付「発言」欄)と批判の声があがっている政党助成金。しかし、自民、民主、公明各党などはその声に背を向け今年も受け取るうとしていきます。

自民党が45%に受け取り額のトップは自民党で2565億9656万円。累計総額の45%を占めます。民主党分は30%で1712億3275万円にのぼります。両党を含め18年間に政党助成金を受け取った政党数は28党(党名変更は1党でカウント)。うち21党は、政党助成金を手にするに政策や理念そつちの離合集散を繰り返して解散したり、政党要件を失って消滅しました。

昨年末には新党日本、太陽の党、新党きづな、新党大地の4党が総務省に解散届けを提出しながら

18年間(1995~2012年)で各党が受け取った政党助成金額(億円)
2566



ら政党助成金を受け取りました。政党助成金は、国家から独立した自主組織としての政党本来のあり方をゆがめ、政党を墮落・腐敗させています。

今年13年分の政党助成金(年総額約320億円)の各党支給額は、総務省に受け取りの請求をした政党の今年1月1日現在の所属議員数や昨年の総選挙得票などを元に機械的に計算されます。議席増となった日本維新の会や、「日本未来の党」を党名変更した「生活の党」も新たに受け取る方向です。

日本共産党は、支持政党にかかわらず国民の税金が各党に配分される政党助成金制度は、憲法が定めた思想・信条の自由を侵すとして一貫して受け取りを拒否し、同制度の撤廃を求めています。

一般紙も問題視

消費税増税や議員定数削減をあおってきた一般紙も「まさか政党交付金欲しさで政党を作っているわけではなからう。だが国会議員が集まれば政党になる、政党などいつでもできる」と、政治家自身が勘違いしていないか(「毎日」3日付社説)、「企業・団体献金の禁止」が制度導入の前提だった。それがいつこうに進まないまま交付金を受け取っているのでは、二重取りではないか(「朝日」昨年12月15日付社説)と政党助成金を問題にしています。

2013年1月9日(水)

生活保護基準引き下げするな
 朝日さん
 厚労省に申し入れ

生活保護基準の引き上げを国に求めて朝日茂さんがたたかっていた「朝日訴訟」の

東日本地震・12号台風への
 救援募金にご協力を
 【郵便振替口座】
 0017017198422
 名義は、日本共産党中央委員会です。
 送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、「地震救援募金」である事の明記を。
 磯城郡日本共産党議員団

後継者で、日本患者同盟書記の朝日健二さん(77)と、全国生活と健康を守る会連合会(全生連)の藤谷(とつや)加津江事務局長は9日、厚生労働省に対し、生活保護基準の引き下げをしないことを求めて要請しました。

先の総選挙で「生活保護の給付水準の1割削減」を公約に掲げた自民党が政権を握り、来年度予算で、生活保護費が削減される恐れがあります。

朝日さんは「生活保護基準の引き下げは、社会保障全体の引き下げにつながる」と指摘。日本患者同盟の会員が集めた、生活保護基準引き下げに反対する署名225人分を厚労省担当者に手渡しました。

「会員は80歳から90歳代で、ともに朝日訴訟をたたかってきた仲間です。みんな『生活保護基準の問題ではだまっていられない』との思いです」と訴えました。

全生連の藤谷事務局長は「基準引き下げは利用者の暮らしをいっそう困難にするだけでなく、最低賃金や年金、就学援助など各種制度に影響し、国民の貧困と格差をいっそう広げる」と批判し、生活保護基準の切り下げをしない、老齢加算の復活、扶養や就労指導の強要など生活保護制度の改善をしないことを求める要求書を手渡しました。

2013年1月10日(木)

日本共産党発行
 赤旗
 日刊月3,400円
 日曜版月800円

アベノミックス

自民党の安倍政権が掲げるアベノミックスとは、公共事業、金融緩和、成長戦略の「3本の矢」を組み合わせた政策とされています。

24年度の補正予算、25年度新年度予算の編成作業が行われて、骨格が新聞等で明らかになってきています。

「日本経済再生に向けた取り組みの第1弾」と位置づける緊急経済対策は大企業支援を中心に事業費20.2兆円で国の財政支出は10.3兆円。このうち5兆円規模の建國国債を発行するとしています。

去年の臨時国会で消費税を14年度から8%に、15年10月から10%

「新春のつどい」に参加して

去る十三日(日) 県社会福祉総合センターで日本共産党の「新春のつどい」があり、後援会の人たちと参加しました。

私たち地方議員も舞台に並び、一言づつ決意表明をさせて頂きました。

その後、今年の夏ある参議院選挙の予定候補者の訴えがありました。選挙区の谷川かずひろ候補、比例区の山下よしき候補は力強い挨拶と参院選に対する熱い想いを語って下さいました。

山下よしき氏は、多くの国民が反対している消費税増税、原発の再稼働、新増設、憲法九条を改正して国防軍の方向へ、公

に引き上げ、社会保障に充てる。そして浮いた分で公共事業などを使うことを自民、公明、民主の3党で合意しました。

今年の年末から来年にかけて「経済も上向いていく」と経済評論家も言っています。来年の消費税増税率アップ前に一部の業者が買ダメ等をおこなうので少しは上向くかも知れませんが、購買力の6割を占める国民の所得が増えない限り日本経済は上向きません。大企業の内部留保の一部を取り崩して働く労働者の給料を上げることが第一です。政府が大企業に指導できるか否かではないでしょうか。

三宅町
池田年夫



おめでとー!

一月の第二月曜日が成人の日と改まって今年で十四回目の川西町の成人式が十四日、「スモスホル」で華やかに行われました。新成人の皆さん。おめでとーございます。

今年度、新たに成人を迎える皆さんは百七名を数えます。これからの時代を支える世代として、皆さんの活躍にエールを送ると同時に大いに期待を寄せる者の一人として、心からのお祝いを申し上げます。

二十世紀の終わりに誕生し二十一世紀になつて学問を探究し身に付けた最初の世代が皆さんなんです。が、たまたま置かれている今日の厳しい雇用情勢にしても、先の見通しが明けて行かない閉塞

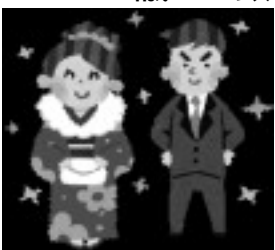
感が蔓延する世の中にして、こうした混沌とした今日

の状況を作り出した事には、皆さんには何の責任も有りませんが、これらを切り開いて行くその中軸となるのが、正に皆さん方の世代で有ることは間違いありません。

火の粉が降りかかってくる以上は、これを払う仕事を、私も皆さんと一緒に一生懸命頑張りますので、あなた方のその濟んだ眼差しで見極めて頂いて、立ちはだかる矛盾を一つ一つ取り除いて行く。こうでは有りませんか。

皆さんの活躍と健勝を祈念し、成人の門出のお祝いと致します。

川西町議
会議員
芝 和也



出初式

十二日(土)朝八時から行われた出初式に出席しました。

山辺広域事務組合田原本消防団六分団九三名と

田原本婦人防災クラブ八名が、元氣一杯行進され、一斉に放水されていました。「自分たちの町は自分たちで守る」という決意が伝わってきました。

火災は、一瞬のうちに大切な財産、人命を奪う災害です。火災を起こさないことが一番大切です。が、起こった際には被害を最小限に抑える。消防

団等の役割は重要です。正月は、「自分たちで

町を守る」取組が目白押しです。お正月の初詣、

初戎、どんど焼きなど伝統文化を受け継ぐ町のみなさんの努力、心意気を感じます。

「過去の遺産を未来へと伝えていく最大の原動力となるのは、行政でも、社会運動でもなく、それを面白い、大切だと思う人々の心だ」と仰った方がありました。なお、山

辺広域事務組合田原本消防団から、今年の四月以降、田原本町消防団に変わるそうです。

田原本議
会議員
吉田容工



田原本町議
会議員
森 良子

